

プログラム再開に関する新型コロナウイルス感染予防対策

テニスプログラム

【プログラム前の対策】

毎回プログラムの前日までに、以下の点について参加者（アスリート、ファミリー、ボランティア）に通知し、各自で判断の上、出席か欠席かの返信をもらう。

返信がない場合は、当日会場に来ても参加できない。

【毎回通知すること】

以下の点において、一つでも当てはまる項目がある人は、プログラムに参加できない。

- ① 新型コロナウイルス感染が疑われる症状、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ、くしゃみや咳、発熱など風邪の症状、においや味がいつもと違うなどの症状がある場合。
- ② 参加者及び参加者の同居家族や身近な知人、介助者などが、過去14日以内に海外（入国制限や入国後の観察期間を必要としている国）に渡航歴がある場合。
- ③ プログラム当日の朝に検温し、体温が37.5℃以上、または平熱よりも1℃以上の熱がある場合。

【プログラム当日の対策】

- 毎回、開始前までに、使用する道具（貸し出しラケット、コーン、マーカー、ボールを入れるカゴなど）の消毒をする。
- 受付時に参加者全員（アスリート、ファミリー、ボランティア）の朝の体温を確認し、記録する。
- 参加者全員、開始前に手指の消毒をする。
- プログラムの時間は60~90分を目安とし、体力を見ながら加減していく。
- ベンチ、審判台は使用しない。ネットも手で触れないように注意する。
- 距離を保つため、お互いのラケットが手を伸ばしても当たらない程度の距離をとる。
- アスリートやコーチは、プレー中のマスクはしない。休憩中は、可能な限りマスクを着用し、お互いに距離をとる。
- 身体に触れて対応する必要のあるアスリートには、原則として、そのファミリーが担当する。
- アスリート5~6人程度を1グループとして、練習内容、待機場所を分ける。参加人数が多い場合は、二部制にするなど、時間を区切ってプログラムを行うこともある。
- タオル、飲み物、ラケットの貸し借りはしない。
- プレー中のハイタッチ、試合後の握手はしないで、別の方法でコミュニケーションをとる。
- プログラムを見学のファミリーはマスクを着用し、適切な距離をとる。そのために目安となるマーカーを用意する。
- プログラム終了後、参加者全員、手指の消毒をする。
- プログラム終了後、その日に使った道具の消毒をする。

以上